

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲・乙	第 52 号	氏 名	三池 忠
審 査 委 員		主 査 氏 名	片岡 寛孝
		副 査 氏 名	浅田 祐太郎
		副 査 氏 名	七島 尊志
<p>[論文題名]</p> <p>Surrounding gastric mucosa findings facilitate diagnosis of gastric neoplasm as gastric adenoma or early gastric cancer</p> <p>[要 旨]</p> <p>胃癌と胃腺腫は形態が似ていることがあり、時として鑑別に苦慮する。また生検による病理組織検査においても、採取部位によっては診断が困難なこともある。臨床現場において、両者を鑑別するためのさらなる指標が望まれるところである。</p> <p>本研究では、2009年10月から2015年1月までに胃腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を施行した146例のうち、検討条件に合致した88例（最終的には84例）について遡及的に解析し、胃癌と胃腺腫を鑑別するための有意な指標を探索したものである。その結果、所謂 closed type の胃粘膜萎縮、すなわち限局性胃粘膜萎縮を背景に発生している腫瘍においては胃癌である可能性が胃腺腫である可能性より高いことを明らかにすることができた。</p> <p>この成果は、胃癌と胃腺腫の鑑別に有用な新たな指標を明らかにしたものであり、胃癌と胃腺腫の発生を研究する上での重要な知見となるのみならず、日常診療にも資する成果であるといえる。学位論文に値する成果と判断した。</p>			